

2026 年 6 月 29 日

株主各位

帝人株式会社

第 160 回定時株主総会における事前質問について

当社は、第 160 回定時株主総会の開催に際し、下記要領にて事前質問を受け付け致しました。
いただいたご質問のなかで株主の皆様の関心が高いと思われるご質問につきまして、ご回答申し上げます。

記

1. 受付期間：2026 年 5 月 29 日（金）～6 月 10 日（水）
2. 受付方法：議決権行使書記載の QR コードからアクセスした専用サイト（株主エンゲージメントポータル）にて受付
3. 質問及び回答

【質問 1】

中東情勢の影響に対する具体的な対応策を教えて欲しい。

【回答 1】

中東情勢による原燃料価格上昇につきましては、コスト削減や生産性向上などの自助努力をしつつ、販売価格への転嫁により、コスト増の影響を最小限に抑制してまいります。

また、調達の不確実性につきましては、現時点、生産に影響はないものの、在庫の確保に努めるとともに、顧客との連携を密に図り柔軟に対応してまいります。

【質問 2】

中期経営計画における各事業の成長戦略について説明して欲しい。

【回答 2】

各個別事業における施策につきましては、5 月 11 日に公表いたしました、「帝人グループ 中期経営計画 2026-2028」の P23～P26 に記載がございますので、是非、ご参照ください。

https://www.teijin.co.jp/ir/management/vision/pdf/plan_pm_260511.pdf

【質問 3】

樹脂事業の今後の立ち位置について教えて欲しい。

【回答 3】

樹脂事業に関しては、今回のセグメント変更において、電池・半導体ソリューション事業とあわせた形でエレクトロニクス&エナジーセグメントとして一体運営することとしています。

この両事業は安定的な収益を実現してきましたが、この安定収益を守りつつ、当グループの成長を下支えしながら、お客様の困りごとを見つけていく顧客起点型のアプローチを進め、次の成長の種を探索してまいります。

【質問 4】

中期経営計画において、リスク投資をどのように成功につなげるか教えて欲しい。

【回答 4】

過去の投資の反省も踏まえ、勝てる領域へ重点化し、規律ある投資を行う方針です。

特に、顧客起点型の事業モデルが既に確立している「アパレル&インダストリーズ」および「ヘルスケア&ライフソリューションズ」、事業競争力の強化や効率性向上に向けた技術・DX投資を中心に成長投資を行い、顧客起点型ビジネスでの確かな利益成長を実現してまいります。

【質問 5】

中期経営計画のうち、ヘルスケア事業の在宅医療を組み合わせた、希少疾患・難病薬に特化する独自戦略について具体的に教えて欲しい。

【回答 5】

当社の在宅医療ビジネスでは、コールセンター、訪問看護ステーション、日本全国にいる営業や保守など在宅での医療行為を支える体制を確立してまいりました。

一方、希少疾患・難病向け医薬品のように、患者の在宅での支援や・医療従事者の困りごと解決支援が必要な医薬品提供については、この在宅医療ビジネスで培った事業基盤により、他社との差別化を図ることが可能と考えております。

【質問 6】

中期経営計画で、希少疾患を除く医薬品について「ベストオーナー」を探索するとの表現があったが、すでに交渉等のアクションを開始しているのか教えて欲しい。

【回答 6】

希少疾患・難病医薬品を除く医薬品については、製品価値を最大化できるベストオーナーを探索することとしています。6月17日にリリースの通り、フェブリク錠を含む長期収載品7品目については販売移管を決定いたしました。今後も在宅医療基盤をベースとする希少疾患・難病医薬品へのシフトを進め、状況については、必要に応じて情報開示を適切に実施してまいります。

【質問 7】

アラミドの競争力が落ちているが、素材会社ではなく、商社路線に変更するということなのか、事業運営・成長戦略の軸を明確にして欲しい。

【回答 7】

当事業を展開する領域においては、素材のコモディティ化が加速化しており、従来のような、よい製品を作って売るという、素材起点型のビジネスモデルは見直しの局面を迎えています。

複雑化した社会課題に対応するためには、顧客の隠れた悩みごとを掘り起こし、自社に拘らない製品、技術、サービス、パートナー連携により解決策を提案できる会社になることが当社の進むべき道と特定し中期経営計画を策定いたしました。

既に当社の強みを発揮し、顧客起点型ビジネスで高収益を実現できている「アパレル&インダストリーズ」および「ヘルスケア&ライフソリューションズ」を軸に成長を図ってまいります。

【質問 8】

招集通知への候補者の性別記載に関する会社の方針について、プライバシー保護・差別防止・多様性への配慮の観点から、記載の是非に関してどのように考えているか教えて欲しい。

【回答 8】

当社では、性別や国籍に限らず、異なる価値観・経験を持つ人材の能力を最大限発揮させることが組織全体のパフォーマンス向上に繋がると考えており、ダイバーシティを推進しております。

取締役会の構成におきましても、多様性確保の状況をステークホルダーの皆様にご理解いただくべく、取締役選任議案に性別等の情報を記載しております。性別自認が異なる場合の記載につきましても、個別の事情に十分配慮したうえで、その是非や方法について慎重に検討してまいります。

【株主総会場でご紹介した事前質問 1】

日経平均が、最高額を更新し続けているが、株価は低迷している。低迷の要因と解消の時期について教えて欲しい。

【事前質問への回答 1】

最近の日経平均株価は半導体銘柄や AI 銘柄に強く牽引されており、化学や素材メーカーの株価の動きと必ずしも連動している訳ではないと承知しております。一方で、当社の企業価値の理解・評価については、なお向上の余地があると認識しており、株価低迷の要因は収益性の低さ、および成長期待の低下にあると捉えております。

こうした状況を打破するため、当社は事業ポートフォリオ変革を断行し、過去の戦略にとらわれない、抜本的なコスト構造改革を進めております。また、顧客起点型ビジネスを軸に、アパレル&インダストリーズ及びヘルスケア&ライフソリューションズの2つの柱を中心に成長軌道に回帰させ、ROE の改善を図ってまいります。

掲げた目標を着実に達成することが、将来の成長期待や株価の向上につながるものと認識しております。その実現に向け、新中期経営計画に掲げた施策の前倒し実行により、早期の PBR1 倍以上の達成を目指してまいります。

【株主総会場でご紹介した事前質問 2】

中期経営計画で、事業全体が縮小傾向のようだが、社員の士気低下や、社風の保守化が懸念される。この対応について教えて欲しい。

【事前質問への回答 2】

当社では、事業ポートフォリオ変革を進める中、経営陣が登壇し、会社の方針・戦略・業績などを共有し、従業員からの質問や意見を受ける双方向コミュニケーションの場であるタウンホールなどを頻繁に開催することで、社員の理解向上、将来に向けた意識醸成を図っております。

タウンホールでは、毎回 1000 人～2000 人程度の社員が参加しておりますが、経営層と双方向の対話を行うことで、現場の声を経営に反映するとともに、社員一人ひとりの経営方針への理解

を深め、組織全体の実行力強化につなげており、今後もこのような取り組みを継続してまいります。

以上